

「福祉文化よもやまゼミナール」に参加しませんか？

このたび日本福祉文化学会研究委員会では、「福祉文化よもやまゼミナール」を立ち上げ、広く会員の皆さんと「福祉文化」について議論する場を設けることになりました。

日本福祉文化学会は1989年設立以来、「福祉文化」について、様々な場で研究するだけでなく、現場から学びながら、福祉文化のあり方について検討を進めてきました。その蓄積の上に、改めて皆さんと現代社会における「福祉文化」のあり方について、意見交換ができればと思っています。

と書くと、何か堅苦しいイメージがありますが、研究者の方はもちろん、最近入会されて「福祉文化ってよくわからない」という方、現場で「もっと楽しい実践をやりたいたいけどなかなかできない」と思っている方など、誰でもご参加いただけます。福祉文化について考えたい、話したいという方は、下記要項をお読みいただき、ゼミのメンバーとして、ご参加いただければと思います。

《活動概要》

3年間にわたり計10回(3ヶ月に1回程度)のゼミナールを開催し、その中で福祉文化に関わるテーマについて話題提供者から報告をしてもらう。その報告に基づき、参加者で討論する。ゼミの内容は、2014年度第25回全国大会までに何らかの形でまとめ、報告する。

《活動予定》

★第1回福祉文化よもやまゼミナール

日時：2012年7月7日(土)14時～17時 場所：立教大学池袋キャンパス会議室

テーマ：「福祉文化研究の方向性 もう『福祉文化とは何か』を考えるのはやめよう」(仮)

話題提供者： 藺田 碩哉(日本福祉文化学会顧問)

※第2回以降のやり方、開催日時等については、第1回ゼミの際に決めます。

《テーマ例》 ※あくまでも例です。

「これまでの福祉文化研究で足りなかったもの ～『福祉文化研究』掲載論文から見えるもの～」

「福祉文化実践の『胡散臭さ』とは何か ～福祉文化が広がらない理由を考える～」

「2つの福祉文化 ～行政的福祉文化と我々の考える福祉文化って違うの?～」

「疲弊した福祉現場で福祉文化実践を広めるための10の方法」

「福祉文化指標を考えよう ～福祉文化的実践ってなんだろう?～」

《参加条件》

この「福祉文化よもやまゼミナール」は、参加者全員が対等な立場で話し合いをする場となるように考えています。ですので、原則として東京で行われるゼミナールに継続して参加できることが条件になります。興味のある回だけの参加は認めません。最終目標である第25回全国大会までの計10回のゼミナールに継続して参加する意思があり、主体的に関わろうと思っている日本福祉文化学会の会員の方であれば、どなたでも参加できます。

《その他》

ゼミでは、毎回メンバー内で担当を決め、司会進行、記録、報告及び討論の内容のまとめなどを、メンバー内で行います。なおゼミの内容については、ホームページで公開する予定です。

《申し込み方法》

6月15日(金)までに、お名前、所属、議論したいテーマ、本ゼミに期待することについて、下記までお送りください。人数はゼミの性格上20名程度までと考えていますが、申し込み多数の場合には、抽選で決定したいと思います。なお申し込みは原則Eメールでお願いします。それが難しい場合に限り、日本福祉文化学会事務局宛にFAXもしくは郵送で上記内容をお送りください。お送りいただいた方には、第1回ゼミナール(7月7日)の詳細について、6月下旬頃にお知らせします(日時は確定)。

《申込先》

申込先 研究委員会担当理事 馬場清宛 Eメールで baba@goodtoy.org

日本福祉文化学会事務局 (FAX・郵送の場合には下記まで)

〒165-0026 東京都中野区新井2-12-10 芸術教育研究所内

電話&FAX 03-5942-8510